

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	32	学校名	郡上高等学校
------	----	-----	--------

学校教育目標 (教育方針)	校訓「凌霜」精神のもと、主体的に学び、可能性に挑戦。多様な他者と協働・共存し、ふるさとに誇りと愛を持ち、地域社会に貢献・活躍する様々な人材を育成する。		
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分に自信のもてる生徒（自己肯定感の高い生徒）」自身のストロングポイントを生かし、自分らしさを魅力として予測困難な社会の中で力強く生きる自立した生徒</li> <li>・「心が美しい生徒」多様性を尊重し、協調する力をもち、世界の一員として正しく行動する生徒</li> <li>・「ふるさとに誇りと愛情をもった生徒」人情味や伝統文化を育んだ郷土に誇りをもち、育んだ能力を地域創成に生かす意欲をもつ生徒</li> </ul>	
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びたいことが学べるカリキュラム」一人ひとりの可能性を見極めて進路選択の能力を育み、生徒の意欲に応えられるカリキュラム</li> <li>・「やりたいことが思い切りできる教育活動」行事や生徒会活動、部活動の充実した取り組みの中で人とつながり、視野を広げることで生きる意味を創造</li> <li>・「一流に触れさせ、本質や本物を求める授業等の展開」生徒の興味や資質に応じた幅広い選択、及び企業や地域から招聘した外部講師の活用を通して好奇心を伸ばし、自ら学ぶ学習者を育成</li> </ul>	
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気のある熱い生徒 学習や部活動、地域の活動、校内外行事で何かを成し遂げたいという情熱を秘めた生徒</li> <li>・人の気持ちを考えられる生徒 自分や他者を大切に思い、また、その気持ちを伝えられる生徒</li> <li>・ふるさとを大切に想う生徒 郷土に誇りと愛情をもち、地域の方と積極的に関わりながら社会で生きる力を身に付けたい生徒</li> </ul>	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①少子化に伴う入学者の減少</li> <li>②地域連携事業の増加と人的資源の不足</li> <li>③農業科再編に対する地域の認知度不足</li> <li>④入学生徒の学力分布の拡大と進路希望の多様化</li> <li>⑤教職員の年齢構成の偏りと時間外勤務の増加</li> </ul>		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標 ※（ ）内の番号は上記課題との関連	
	学校経営	地域と積極的に連携した魅力ある学校づくりを推進する（①②③） 教職員の協働を通して、教育理念や教育スキルの継承を図る（⑤）	
	学習指導	多様な学びや能動的な活動を実現するための教育課程の充実を図る（④） 指導と評価の一体化を図ることで、学習意欲の向上を図る（⑤）	
	進路指導	自己を見つめ、主体的に進路選択をするための能力や態度を育成する（④） 家庭での学習習慣形成を支援するとともに、補習授業等発展的な学習機会を提供することで、基礎学力の充実と応用力の伸長をめざす（④）	
	生徒指導	自己を認め他者を受け入れる生徒指導を充実させ、好ましい人間関係の構築を図る 家庭や地域社会との連携を強化し、相談・協力体制の充実を図る	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策 ※アンダーラインは評価の視点	県教育振興基本計画での位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D
学校経営	地域力を活用した課題解決学習を主体的に取り組み、「ふるさと教育」を充実させる。	4	施策Ⅰ-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者アンケートの分析</li> <li>・反省職員会議</li> <li>・校内自己評価</li> <li>・関係者評価</li> </ul>			
	普通科において、習熟度授業の実践や応用クラスの編成により、多様な学力層の生徒に適切な学びの場を提供する。	8	施策Ⅱ-8				
	地域との連携により農業科の授業や課題研究を充実させる。	14	施策Ⅱ-14				
	教職員の業務の適正化を図るとともに、教職員が学び合う協働的な研修の場を創出する。	26	施策Ⅳ-26				
学習指導	主体性を引き出す選択科目の充実を図ることで多様な進路希望に対応する。	8	施策Ⅱ-8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者アンケートの分析</li> <li>・反省職員会議</li> <li>・校内自己評価</li> <li>・関係者評価</li> </ul>			
	教育課程委員会や学校行事検討委員会などを通じて教育活動の理念と目標の共有を図る。	1	施策Ⅰ-1				
	学習内容や目標及び評価方法等を生徒に明示し、主体的な学習姿勢の育成に努める。	8	施策Ⅱ-8				
	教員間の授業見学や交流などの職員研修を充実させて授業力向上を図る。	26	施策Ⅳ-26				
進路指導	適切な情報提供や進路相談を密に行うことで、希望と適性に合った進路選択をする支援を行う。	13	施策Ⅱ-13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者アンケートの分析</li> <li>・反省職員会議</li> <li>・校内自己評価</li> <li>・進路実績(進学、就職)</li> <li>・関係者評価</li> </ul>			
	行政や雇用関連機関と連携して、郷土の産業や地元企業を知る機会を提供する。	13	施策Ⅱ-13				
	個人の課題や社会の課題を発見し、地域の人と関わりながらその解決に向けて主体的に取り組み、考えを表現する機会を創出する。	4	施策Ⅰ-4				
	ホームページやスグー等を活用し、進路計画の連絡や進路関連行事の報告等を行うことで、保護者や地域に向けて発信を行う。	7	施策Ⅰ-7				
生徒指導	予測困難な現代社会を理解させ、自分と多様な他者の「命の大切さ、尊さ」を各教科の授業や学校行事等を通じて、「美しい心」を育成する生徒指導を推進する。	2	施策Ⅰ-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者アンケートの分析</li> <li>・反省職員会議</li> <li>・校内自己評価</li> <li>・関係者評価</li> </ul>			
	年2回の「命を守る訓練」を充実させ、地震や水害等、様々な災害に対する危機意識を高める。	19	施策Ⅲ-19				
	「いじめを絶対許さない」という強い姿勢で保護者と連携し、多様な生徒の理解を深める。	3	施策Ⅰ-3				
	発達段階や家庭環境等に応じて、スクール相談員や外部専門家を活用して支援する。	21	施策Ⅳ-21				

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日

--

--